

国際新署名「核兵器のない世界を」を広げよう



岡山県原水協通信

2010年1月13日 No110
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

NPT再検討会議 要請行動 参加者がリレートーク

元気に新春の6・9行動

岡山県原水協は2010年最初の6・9行動を1月9日午前10時半から岡山駅前で行いました。NPT参加者10人を含む17人が参加。はじめて参加者のリレートークを行いそれぞれがNPT参加の決意と核兵器廃絶の思いを訴えました。新日本婦人の会豊田依子県会長は「いまも地球上に2万発もの核兵器があります。核兵器廃絶署名にご協力ください。いただいた署名は私が国連に届けます」と訴えました。NPT参加の青年たちの元気な訴えで楽しい行動になりました。「核兵器のない世界を」署名、123筆が集まりました。



水島
原水協

「ビッグな運動ですね」 倉敷成人式会場前で署名行動



水島原水協は10日、倉敷成人式会場前、マスカット球場で新成人に署名を訴えました。民青同盟の仲間を含め8人で行動。94筆の署名が寄せられました。

「成人おめでとうございます。平和な世界をめざす核兵器廃絶の署名ご協力ください。この署名は国連にとどけます。」のよびかけに応じた女性の新成人は「ビッグな運動ですね。一人の署名で本当に核兵器がなくなるのでしょうか？」と問いかけ「1人ひとりの草の根の力が世界を動かすのです。」のこたえに納得。「頑張ってください」と会場に向かいました。

新成人のしっかりした意識に署名行動に参加した仲間も励まされました。

運動の先頭に・NPT参加者会議開く

岡山県原水協は1月9日、岡山市勤福センターで「NPT要請行動参加岡山県代表团・国会議」を開催しました。会議には30人の参加予定者のうち20人が出席。初めての顔あわせもあり、それぞれが決意と活動状況を交流しました。「1人百筆を青年部目標に(自治労連)」「6千の署名と40万募金で頑張っている(赤磐原水協)」「月6回の署名行動で頑張っている(PPO)」「2万目標、到達5千、自身5百をめざす(新婦人豊田)」などが報告されました。県内20万筆の達成の先頭に立ってがんばる決意をかためました。

笠岡 高木市長が表明 平和市長会議加盟を示唆

中国新聞1月9日報道によると、笠岡市の高木直矢市長は、市非核宣言25周年を記念し3月末までに核兵器のない世界をめざす「平和市長会議」に加盟する考えを明らかにしました。県内4番目となります。